

Purple Lite 取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。そのあと保管し、必要ならこちらにお読みください。

ご使用前に

- ▼本製品は自転車用仏式(バルブチューブ(ウレタン樹脂製))です。他の目的には使用しないでください。
- ▼タイヤ・チューブの交換は専用工具や専門知識が必要です。整備士資格のある専門店または専門コーナーに依頼されることをおすすめいたします。ご自分で交換される場合、自転車の種類によって方法が異なりますので、分解・組立方法については自転車メーカーへお問合せください。
- ▼取り付け前に、タイヤサイズがチューブの適合範囲であるかを確認してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

空気圧はタイヤに表示されている標準空気圧(推奨空気圧)に従う



パンクによる転倒の原因となります。

走行前にタイヤに釘やガラス片などの突起物がさざらないか点検する



パンクによる転倒の原因となります。

子供など取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わない



誤飲の原因となります。

リムへの取りつけの際、油やワックスは使用しない



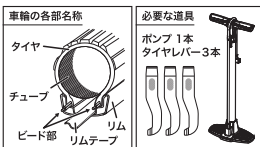
走行中にタイヤがはずれて転倒の原因となります。

- ▼適合サイズ以外のタイヤでは使用できません。また一旦使用した本製品を他のタイヤに装着する場合、今まで装着していたタイヤより細いタイヤには装着できません。
- ▼製品が破れた場合、修理はできません。
- ▼チューブの取りつけや取りつけには必ず専用工具のタイヤリバー(別売)を使用してください。※ドライバーなどを使用するとタイヤやチューブを傷つけます。
- ▼チューブの交換時に、リムテープ(別売)も新しいものと交換してください。※リムテープ(右側)裏面の各部名称(参照)
- ▼購入直後の製品でも、保管期間や状態によっては経年劣化する場合がありま。装着前に異常がなかった場合、使用せずご購入店または下記の弊社「お客様相談室」へご連絡ください。
- ▼パンクの金や空気圧ゲージを差し込むときは、バルブがリムの奥に入りこまないようにしてください。(バルブにはリムナットを取りつけてください)

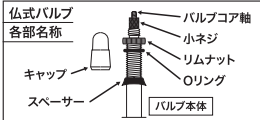
お願い

- 本製品はブチルゴム製チューブより若干耐熱性が劣りますので、チューブに過熱の熱がからないようにご注意ください。長い下り坂などで頻頻にブレーキをかけると、リムブレーキはホイールが過熱し、チューブが変形する場合があります。
- 本製品のバルブの根元は樹脂製ですので、取り扱いに注意してください。
- タイヤの空気圧チェックは走行前に必ず行ってください。※空気圧の入れ過ぎや低圧使用はタイヤの破損やパンクの原因となります。必ずタイヤに表示されている標準空気圧(推奨空気圧)に従ってください。
- チューブの傷やバルブの変形、破損がある場合は、直ちに交換してください。
- チューブの取りつけやパンク修理の際に、チューブをタイヤの外に出した状態で空気を入れ過ぎるとチューブが変形したり破損したりします。空気圧は35kPa(0.35BAR未滿)にしてください。
- ブレーキシューがタイヤ側面に当たらないよう装着してください。
- 直射日光や雨の当る場所に置かないでください。
- スベアチューブとしての近づくに置かないでください。
- チューブとして携行する時や長期間使用せずに保管する場合なども、品質保持のため、密閉できる袋などに入れて空気を水分にさらさないようにしてください。
- ガソリン・有機溶剤・油類のあるところに置かないでください。
- 取扱い等不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談室」にお問い合わせください。

正しいチューブの取り替えかた



※タイヤリバー(ポンプ)は当社オリジナル製品をおすすめいたします。



チューブの取りはずしかた

- ①バルブのキャップとリムナット、オリング、スペーサーを外し、バルブコア軸の小ネジを緩め、軽く押し込んで空気を抜いてください。
- ②ビード部にタイヤリバーを10cm位の間隔で1本ずつ差し込み、矢印の方向に倒してください。※このときチューブを傷つけないように、タイヤリバーはビード部のみにかけると注意。※タイヤリバーを差し込む際、リバーがスポークから外れないようにしっかりとかけ。
- ③リムに沿って20〜30cm程度、②の作業を繰り返しながらビード部を外し、残りのビード部は指で外してください。
- ④片側のビード部全体をリムから外す。そのあとバルブ部分を残してチューブを取り出します。
- ⑤タイヤと、チューブのバルブ部分とをいっしょにかみ上げ、もう片方のビード部をリムから外します。

チューブの取り付けかた

- ①チューブに少量(35kPa/0.35BAR未滿)の空気をを入れてください。
- ②タイヤにチューブのバルブ部分をはめ込み、リムのバルブ穴にチューブのバルブを通してください。
- ③リムに沿って片側のビード部を徐々にリムにはめていってください。※このときチューブをささないように注意。
- ④チューブをタイヤの中に入れてください。※このときチューブをねじったり、折り曲げたりした状態で無理にタイヤを押し込まないように注意。
- ⑤もう片方のビード部をバルブの反対側(図の矢印の位置)からリムに沿って徐々にはめていってください。※このときチューブをささないように注意。
- ⑥バルブ部分へのビード部をはめ込みは、チューブがはまらないようにバルブを図のようにリムの内側に2〜3回軽く押し込んだあとしっかりと引き抜いてください。※バルブ部を両側とはめたあと、リムとビードの間にチューブがはさまらないか両側のビード部を必ず点検する。はさんだまま空気をを入れるとパンクします。
- ⑦バルブにオリングをはめ込んだあとにリムナットを取りつけてください。リムハイトが低い場合は付属のスペーサーをリムとオリングの間に必ず差し込み、リムナットは必ず装着し、指で締める。
- ⑧空気を少し入れてビード部がリムに均にはまっていかに点検してください。均でない場合は手でまんべん調整します。調整の後、自転車用ポンプを使って空気を徐々にに入れてください。一度に多くの空気を入るエアークンプレッサーは使わないでください。
- ⑨空気圧はタイヤに表示されている標準空気圧(推奨空気圧)に従ってください。空気を入れた後小ネジを締め、最後にバルブのキャップをつけて終了です。

Panaracer Light weight TPU tube

Purple Lite

Instruction Manual

Read this instruction manual carefully before using the product. Keep it in a safe place and refer to it whenever necessary.

Preparation Before Use

- ▼ This thermoplastic polyurethane (TPU) tube is designed for bicycle racing only. Do not use for other purposes.
- ▼ Prior to installation, ensure that the tire size falls within the compatible range for the tube.

Safety Precautions

Always adhere to the recommended inflation pressure indicated on the tire.



Failure to do so may result in a flat tire and potential falls.



Failure to do so may result in a flat tire and potential falls.

Do not allow children or inexperienced individuals to use the product unsupervised and avoid placing it within reach of infants.



Accidental ingestion may occur, leading to serious harm.



Using such substances may cause tires to come off while riding, resulting in falls.

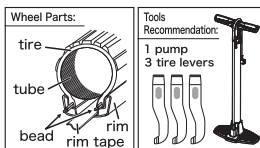
▼ This product is designed to be used only with tires of the compatible size. Using it with tires of different sizes may result in malfunction or damage. Once this product has been used with a specific tire size, it cannot be mounted on tires that are thinner than the original ones. Doing so may compromise safety and performance.

▼ If this product becomes punctured, it cannot be repaired. Please replace it immediately to maintain safety and functionality.

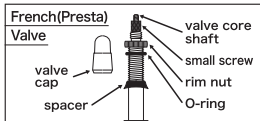
Usage Guidelines

- Exercise caution to prevent excessive heat exposure to the tubes, as they have slightly lower heat resistance compared to butyl rubber tubes. Prolonged braking on steep downhill slopes, especially when using rim brakes, may cause overheating and potential tube damage.
- Handle the valve base of this product with care, as it is made of plastic materials.
- Prior to riding, always check tire pressure. Failure to maintain proper tire pressure, either through over-inflation or under-inflation, may lead to tire damage or punctures. Follow the standard tire pressure recommendations indicated on the tire.
- If the tube is damaged or if the valve is deformed or broken, it is imperative to replace it immediately to ensure safe operation.

Tube Replacement

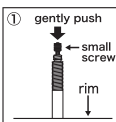


※ Use Panaracer tire levers and pumps.



Tube Removal

- 1 Remove valve cap, rim nut, O-ring, and spacer. Loosen small screw on valve core shaft and gently push to release air.



- 2 Insert tire levers into bead section, about 10 cm apart, tilting them as indicated by arrows.



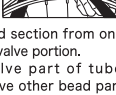
- 3 Apply firmly to bead section to avoid tube damage and ensure levers stay on spokes.



- 4 Repeat step 2 for 20 to 30 cm along rim. Use fingers to remove remaining bead section.



- 5 Take off entire bead section from one side of rim, leaving valve portion.
- 6 Grab tire and valve part of tube together and remove other bead part from rim.



Tube Installation

- 1 Fill tube with a small amount of air (less than 35 kPa/0.35 BAR).
- 2 Insert valve part of tube into tire, and thread valve through rim valve hole.
- 3 Carefully fit one side of bead along rim, ensuring tube is not caught between rim and bead.
- 4 Place tube into tire, ensuring it's not twisted or bent.
- 5 Gradually insert other side of bead along rim, starting opposite valve.
- 6 Lightly push valve inside rim 2-3 times, ensuring tube isn't caught. Inspect both bead sections for any tube pinching.
- 7 Install rim nut after fitting O-ring onto valve. Use spacer if rim height is low. Finger-tighten nut.
- 8 Inspect if bead is evenly seated on rim with a little air. Adjust by hand if necessary.
- 9 Carefully inflate tire to standard air pressure indicated on tire. Tighten small screw and cap valve after inflation.

